

平成 31 年 1 月 8 日

関係各位

公益財団法人 原子力環境整備促進・資金管理センター  
理事長 高橋 彰

## 企業等が保有する施設の使用可能性に係るヒアリング調査に関心のある企業等の 募集について

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

弊センターは 1976 年の設立以来、低レベル放射性廃棄物から高レベル放射性廃棄物まで全ての放射性廃棄物の処理処分を対象に、放射性廃棄物に特化した中立の調査研究機関として活動を進めております。このような中で、高レベル放射性廃棄物等の地層処分に係る工学技術分野に関する調査研究については、基盤研究開発や要素技術開発に係る着実な取組に加え、得られる知見や要素技術を組み合わせた地上での実証的な取組（機能や適用性の確認試験などによる技術実証など）を企業等のご協力を頂きつつ集約的かつ合理的に進め、地層処分の工学技術の信頼性の向上を図り、事業の円滑な推進に役立てていきたいと考えております。

ついでには、企業等が保有する施設（上記の取組を可能とする作業ヤードや付帯設備など）を使用した実証的な取組の実施に向けて、そのような施設を使用させて頂ける可能性のある企業等へのヒアリング調査を下記要領にて実施します。本調査に関心のある企業等（以下、「関心企業等」という。）におかれましては、下記の担当者までご連絡を頂きたく宜しくお願い致します。

敬具

－ 記 －

### 1. 施設に関する条件（目安）

- 1)施設使用予定期間：2022 年度末まで（その後については双方で協議する）
- 2)施設の立地環境・広さ：東京近郊に位置する風雨を凌げる 500 坪程度の施設（作業ヤード）
- 3)付帯設備等：施設内に天井クレーンや試験等に必要な電力供給設備を有していること
- 4)その他
  - ・ 同施設内において、国や関係研究機関等から受託する研究開発業務を原環センターが準備する研究リソースを用いて実施できること（原環センターの管理のもとで他の民間企業や研究機関等の研究者が同施設内で研究開発等の業務に従事できること）
  - ・ 関心企業等に同施設内の研究施設インフラに関する日常の管理業務が期待できること

### 2. 施設で計画する研究開発（予定）

- 1)一般土木分野で用いられる施工技術等をベースとした技術の高度化開発
- 2)土木・機械分野で扱われるような材料の特性把握等に向けた各種試験研究等の実施

※当該施設において放射性物質を用いた取組は行わない。また、関心企業等が同施設で遵守している規定や制約等を逸脱するような調査研究は行わない。

### 3. 関心をお寄せ頂いた企業等（関心企業等）とのヒアリング調査の実施と施設の選定〔予定〕

- 使用させて頂く施設の選定に向けて、施設に関する条件の細部（上記 1.に示す条件の詳細や交通利便性を含む施設の立地環境、及びその他の条件の実現性など）、ならびに施設の使用に伴う費用負担や契約方式など、各種条件等を確認させていただきます。

- 複数の候補施設（複数の関心企業等）がある場合は、原環センターが各種の条件等を総合的に判断して施設を選定させていただきます。

※選定に係る原環センター内での検討経緯や判断根拠などは公表しません。

- 条件等に合意が得られない場合、或いは、やむを得ぬ事情により、本計画を遂行できない場合があります。

### 4. 今後のスケジュール〔予定〕

- 平成 31 年 1 月～2 月

関心をお寄せ頂いた企業等とのヒアリング調査を順次個別に実施します。

- 平成 31 年 2 月ないし 3 月

使用させて頂く施設（本件に協力を頂く企業等）を決定します。決定の後に必要な手続きを行います。

### 5. 担当者（連絡窓口）

処分工学調査研究プロジェクト

江守 稔（えもり みのる）

e-mail: [emori@rwmc.or.jp](mailto:emori@rwmc.or.jp)

電話: 03-6264-1611（直通）

以上